

原子力学会標準委員会 リスク専門部会  
第48回レベル2PRA分科会審議 議事要旨

日時 2023年7月28(金) 13:30-17:00

場所 Web会議

出席者：

委員：濱崎（主査），山越（幹事），廣内（幹事），廣川（幹事），池田，宇井，小野田，  
小谷，佐藤，鈴江，白石，中村（真），成川，守田，山路 15名出席

（欠席）石川，中村（康），原口，松山，美原

常時参加者：大沼，三浦，西村，橋本，小城，平塚

（欠席）阿部，友澤，羽佐田

議事：（発言者省略）

議事に先立ち，定足数及び配布資料の確認を行った。

#### 議題1 前回議事録の確認

<要旨>

廣川幹事より，資料P10SC48-1に基づき，前回議事録要旨（案）について説明があった。  
特にコメントなく，正式版として発行することが承認された。

#### 議題2 人事案件

<要旨>

山越幹事より，資料P10SC48-2に基づいて説明がなされ，常時参加者の解除が報告された。  
また，常時参加者の登録が承認された。

- ・常時参加者の解除 杉田 寛幸（九州電力株式会社）
- ・常時参加者の登録 平塚 大悟（九州電力株式会社）

#### 議題3 レベル2PRA標準の津波拡張（最終版）について

<要旨>

濱崎主査より，レベル2PRA標準の津波拡張版（最終版）の状況について説明がなされた。  
6月7日の標準委員会で発行が了承されたものの，体裁上の問題点があった（理由は  
ファイル取違えの可能性が高い）。追加の誤記についてもFixしたもので8月9日の専門部  
会に報告し，そこで了承されれば製本に入る。発刊後のタイミングにはなるが，9月の標  
準委員会でも報告する。

今後，停止時拡張/階層化作業で原案作成することになるため，改めて様式上の留意点に  
ついて資料P10SC48-3に基づき濱崎主査より説明がなされた。

#### 議題4 レベル 2PRA 標準の停止状態拡張のための文案作成について

##### <要旨>

廣内幹事，担当委員より，資料 P10SC48-4 に基づき，レベル 2PRA 標準の停止状態拡張のための文案作成について説明がなされた。

これに対して以下の議論があった。

- ・ PWR では通常は燃料が炉心から搬出された段階で，機器ハッチが開放される。BWR では定検停止状態になった時点で格納容器が開放され，イナータ化は格納容器隔離のタイミングと同じである。PWR のエアロックは基本閉止であり，人が通るときだけ開放する。その他の開口部についても燃料装荷中においては，保安規定上すぐに閉止できるようにになっている。
- ・ 米国で停止時レベル 2PRA 標準がなかなか完成しないのは，停止時ではバリエーションが複数あるためと思われるが，PWR，BWR とともに，定検工程が多少前後することはあるものの，標準定検として説明可能であると考えられる。
- ・ BWR のプールゲート開放時に原子炉と SFP が接続されることになる。本標準策定にあたっては，原子炉と SFP は単独でのリスクを扱うこととし，同時損傷については今後の技術進展を踏まえて対応していく。
- ・ SFP を対象とする際の用語（停止時及び SFP，格納容器イベントツリー，放出モード）については後日調整する。
- ・ 停止時/SFP のソースタームの評価事例が附属書にあるとよいとの意見があったが，まだ実施例は少ないことが確認された。
- ・ 停止時拡張の実施方針/記載内容について，各委員にレビューいただき，8/28 までに廣内幹事に連絡する。

#### 議題5 レベル 2PRA 標準の階層化のための文案作成について

##### <要旨>

廣川幹事，担当委員より，資料 P10SC48-5 に基づき，レベル 2PRA 標準の階層化のための文案作成について説明がなされた。

これに対して以下の議論があった。

- ・ これまで箇条の始めに「一般事項」があったが，レベル 2PRA 標準（基準）においては実施内容を明確化するため，レベル 1PRA 標準（基準）と同様に「目的及び実施すべき事項」に変更し，それに沿った記載を行う。
- ・ レベル 2PRA 標準（基準）の箇条 5 については，レベル 1PRA 標準（基準）と同様に「品質確保で満たすべき要件」を記載する。
- ・ 指針の記載方針として，語尾を「～する」を基本的には用いるが，「～すべき」とした方が基準/指針の書き分けが明確になる場合もある。「～すべき」を禁止するも

のではなく、全体のトーンとして違和感がなければ問題はない。

- ・ 箇条 12 では、基準の 12.1 に対応する指針がなく、指針の番号をずらすのか、ブラックとするのか、検討中。
- ・ 階層化の実施方針/記載内容について、各委員にレビューいただき、8/28 までに廣川幹事に連絡する。

## 議題 6 今後の進め方

### <要旨>

山越幹事より、P10SC48-6 に基づき、今後のスケジュールについて説明があった。

- ・ 津波拡張版の誤記チェックの結果については、次回の上位委員会で報告されることが紹介された。
- ・ 津波拡張版の国際学会への発表先を今後決定する。
- ・ 次回の JCNRM は9月に開催される予定。

次回分科会は、2023/10/26（木）13:30～17:00 に開催する。

## 議題 7 倫理教育

### <要旨>

山越幹事より、P10SC48-7 に基づき、倫理規程制定 20 周年シンポジウムにおける論点と議論を説明し、その後自由討議を行った。1F 事故が倫理で防げたかどうかについては、これは倫理の問題ではなく技術やルール、ガイドの問題なのではないかという問題提起があった。また、長く同じ組織に在籍していると、なかなか気づきの機会がなく、これを打開するためには、討議する場が必要との意見があった。さらに、倫理の問題とすると捉えどころがなく難しいが、なるべくリスク情報を活用した意思決定といった技術論的な問題に落とし込むことでより明確に対応できるのではとの意見もあった。

以上